

第 3 回 嘉麻市水道事業経営審議会 報告資料

令和 8 年 6 月
嘉麻市水道局

給水人口と収支の関係について

Q 給水人口がどの程度まで増加すると黒字化が見込めるのか。

A 令和2年度までは黒字での経営であった。令和2年度の給水人口は33,139人であったことから、現状から約3,000人給水人口が増加すれば、黒字化を見込める可能性はある。ただし、下記表のとおり、毎年600人以上の減少が続いている現状において、3,000人以上の給水人口増加は非常に困難な状況である。

項 目	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
給水人口（人）	35,513	35,028	34,354	33,767	33,139	32,506	31,867	31,181	30,473
前年比	－	△ 485	△ 674	△ 587	△ 628	△ 633	△ 639	△ 686	△ 708
1人あたり事業収入（円）	20,398	20,248	20,726	19,416	19,675	19,195	19,198	19,037	19,026
前年比	－	△ 150	478	△ 1,310	259	△ 479	3	△ 161	△ 12
1人あたり事業費用（円）	16,828	16,999	17,657	18,724	17,831	20,530	19,522	19,631	20,042
前年比	－	171	658	1,068	△ 893	2,699	△ 1,009	110	411
1人あたり収益的収支（円）	3,570	3,249	3,069	692	1,843	△ 1,335	△ 324	△ 594	△ 1,016

田川地区広域水道企業団からの給水について

Q 田川広域水道企業団から水を購入は可能か。その方が安価ではないのか。

A 以下のとおり訪問し、状況を確認してきた。

- 1. 訪問日時 令和8年4月22日（水）14：00～
- 2. 訪問場所 田川市役所別館2階
- 3. 訪問者 水道局長 柴田 英樹 水道局長補佐 藤井 敏道 水道局長補佐 笹尾 典弘
- 4. 対応者 事務局長他2名
- 5. 水道事業経営に関する情報交換の内容
 - (1) 田川広域水道企業団から嘉麻市が受水可能か
給水区域外への給水を想定した事業計画はなく、また、水源の確保等施設整備の課題があり現状では難しい。
 - (2) 田川広域水道企業団との広域連携化は
福岡県が進めている飯塚市、桂川町との水道広域化推進プランが優先ではないかと考える。

【水道料金比較表】 (単位：円)

項 目		13mm		20mm		25mm		30mm	40mm	50mm	75mm	100mm
		4㎡まで	8㎡まで	4㎡まで	8㎡まで	4㎡まで	8㎡まで					
基本料金	嘉麻市	490	980	540	1,080	580	1,160	1,270	1,540	1,880	3,080	4,760
	田川広域	970		1,030		1,090		2,880	5,010	7,760	17,260	29,900
超過料金	嘉麻市	150（1㎡につき）										
	田川広域	257（1㎡につき）										

【経営指標による比較表（R6年度）】

項 目	給水原価	供給単価	料金回収率	純損失
嘉麻市	159.29円	147.59円	92.7%	△30,972千円
田川広域	234.84円	202.85円	86.4%	△219,148千円